

特別支援学校

受験番号

授業の構想を練る時間：5分間 説明の時間：1分間 模擬授業の時間：5分間

（1）本試験のねらい

知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校で実施する授業について、児童生徒の実態を考慮し、教科の段階を踏まえた授業（指導）内容となっているか、児童生徒の前で授業をする際の様子を評価します。

（2）問題の内容

あなたは特別支援学校の学級担任です。下記の授業内容、授業設定、留意事項、裏面の各段階における目標及び内容を踏まえ、児童生徒たちに授業を行いなさい。

【授業内容】

生活（社会）の内容と関連させて『校外学習（社会見学）に行こう』という単元を計画しています。

本時の授業では、「きまりやルールを守る」という内容を取り入れた授業を行います。

【授業設定】

- ・ 主担当として模擬授業を進める。
- ・ 担当する（学）部，学年は自由に設定してよい。
- ・ 対象の児童生徒は知的障がい単一とする。
- ・ 児童生徒5人が目の前にいることを想定し，模擬授業を行う。
- ・ 児童生徒の意思の表出（意見や質問）や動作（反応）を具体的に想定し，それに対して全体へ向けて授業（指導）をすること。

【留意事項】

- ・ 授業を進めるにあたり，下記の物品を使用してもよい。
 - ※黒板・ホワイトボード（固定式）×1
 - ※ホワイトボード（手持ち）×1 } 授業の構想を練る時間に記入可
- ※ホワイトボードマーカー（黒，赤，青，緑）
- ・ 授業の構想を練る時間に上記の物品を用いて授業の準備をしてよい。
なお，机，椅子については，現状のレイアウトのとおりとし，動かさないこと。

【各段階における目標及び内容】

小学部 生活 3段階

(1) 目標

ア 活動や体験の過程において、自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴やよさ，それらの関わりに気付くとともに，生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

(2) 内容

ケ きまり

学校のきまりや公共の場でのマナー等に関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり，それらを守って行動しようとする事。

中学部 社会 2段階

(1) 目標

ア 自分たちの都道府県の地理的環境の特色，地域の人々の健康と生活環境を支える役割，自然災害から地域の安全を守るための諸活動及び地域の伝統と文化並びに社会参加するためのきまり，社会に関する基本的な制度及び外国の様子について，具体的な活動や体験を通して，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 内容

ア 社会参加ときまり

(ア) 社会参加するために必要な集団生活に関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

㉞ 学級や学校の中で，意見を述べ合い，助け合い，協力しながら生活する必要性を理解し，そのための知識や技能を身に付けること。

高等部 社会 2段階

(1) 目標

ア 我が国の国土の様子と国民生活，自然環境の特色，先人の業績や優れた文化遺産，社会参加するためのきまり，公共施設の役割と制度，工業の現状，産業と情報との関わり，外国の様子について，様々な資料や具体的な活動を通して，社会生活との関連を踏まえて理解するとともに，情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 内容

ア 社会参加ときまり

(ア) 社会参加するために必要な社会生活に関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

㉞ 社会の中で互いに協力しながら，社会生活に必要な知識や技能を身に付けること。

特別支援学校

受験番号

授業の構想を練る時間：5分間 説明の時間：1分間 模擬授業の時間：5分間

（1）本試験のねらい

知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校で実施する授業について、児童生徒の実態を考慮し、教科の段階を踏まえた授業（指導）内容となっているか、児童生徒の前で授業をする際の様子を評価します。

（2）問題の内容

あなたは特別支援学校の学級担任です。下記の授業内容、授業設定、留意事項、裏面の各段階における目標及び内容を踏まえ、児童生徒たちに授業を行いなさい。

【授業内容】

図工（美術）において『夏の思い出を描こう』という単元を計画しています。本時の授業では、「絵具を使って描く」という内容を取り入れた授業を行います。

【授業設定】

- ・ 主担当として模擬授業を進める。
- ・ 担当する（学）部，学年は自由に設定してよい。
- ・ 対象の児童生徒は知的障がい単一とする。
- ・ 児童生徒5人が目の前にいることを想定し，模擬授業を行う。
- ・ 児童生徒の意思の表出（意見や質問）や動作（反応）を具体的に想定し，それに対して全体へ向けて授業（指導）をすること。

【留意事項】

- ・ 授業を進めるにあたり，下記の物品を使用してもよい。
 - ※黒板・ホワイトボード（固定式）×1
 - ※ホワイトボード（手持ち）×1
 - ※ホワイトボードマーカー（黒，赤，青，緑） } 授業の構想を練る時間に記入可
- ・ 授業の構想を練る時間に上記の物品を用いて授業の準備をしてよい。
なお，机，椅子については，現状のレイアウトのとおりとし，動かさないこと。

【各段階における目標及び内容】

小学部 図工 2段階

- (1) 目標
ア 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。
- (2) 内容
A 表現
ア 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(イ) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすること。

中学部 美術 2段階

- (1) 目標
ア 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方などを身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。
- (2) 内容
A 表現
ア 経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(イ) 材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すこと。

高等部 美術 1段階

- (1) 目標
ア 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- (2) 内容
A 表現
ア 感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、描いたり、つくったりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(イ) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すこと。

特別支援学校

受験番号

授業の構想を練る時間：5分間 説明の時間：1分間 模擬授業の時間：5分間

（1）本試験のねらい

知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校で実施する授業について、児童生徒の実態を考慮し、教科の段階を踏まえた授業（指導）内容となっているか、児童生徒の前で授業をする際の様子を評価します。

（2）問題の内容

あなたは特別支援学校の学級担任です。下記の授業内容、授業設定、留意事項、裏面の各段階における目標及び内容を踏まえ、児童生徒たちに授業を行いなさい。

【授業内容】

職業・家庭（生活）の内容と関連させて『宿泊学習に行こう』という単元を計画しています。本時の授業では、「衣服の身だしなみや手入れ、片付け方」という内容を取り入れた授業を行います。

【授業設定】

- ・ 主担当として模擬授業を進める。
- ・ 担当する（学）部，学年は自由に設定してよい。
- ・ 対象の児童生徒は知的障がい単一とする。
- ・ 児童生徒5人が目の前にいることを想定し，模擬授業を行う。
- ・ 児童生徒の意思の表出（意見や質問）や動作（反応）を具体的に想定し，それに対して全体へ向けて授業（指導）をすること。

【留意事項】

- ・ 授業を進めるにあたり，下記の物品を使用してもよい。
 - ※黒板・ホワイトボード（固定式）×1
 - ※ホワイトボード（手持ち）×1
 - ※ホワイトボードマーカー（黒，赤，青，緑） } 授業の構想を練る時間に記入可
- ・ 授業の構想を練る時間に上記の物品を用いて授業の準備をしてよい。
なお，机，椅子については，現状のレイアウトのとおりとし，動かさないこと。

【各段階における目標及び内容】

小学部 生活 3段階

(1) 目標

ア 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりに気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

(2) 内容

ア 基本的生活習慣

身の回りの整理や身なりなどの基本的な生活習慣や日常生活に役立つことに関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(イ) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けること。

中学部 職業・家庭 2段階

(1) 目標

家庭分野

ア 家族や自分の役割について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2) 内容

家庭分野

B 衣食住の生活

エ 衣服の着用と手入れ

衣服の手入れや洗濯の仕方などに関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(イ) 日常着の使い分けや手入れの仕方などについて理解し、実践すること。

高等部 家庭 2段階

(1) 目標

ア 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2) 内容

B 衣食住の生活

ウ 衣服の手入れ

衣服の手入れに関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(イ) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。

特別支援学校

受験番号

授業の構想を練る時間：5分間 説明の時間：1分間 模擬授業の時間：5分間

（1）本試験のねらい

知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校で実施する授業について、児童生徒の実態を考慮し、教科の段階を踏まえた授業（指導）内容となっているか、児童生徒の前で授業をする際の様子を評価します。

（2）問題の内容

あなたは特別支援学校の学級担任です。下記の授業内容、授業設定、留意事項、裏面の各段階における目標及び内容を踏まえ、児童生徒たちに授業を行いなさい。

【授業内容】

体育（保健体育）において『丈夫な体をつくろう』という単元を計画しています。本時の授業では、「風邪の予防」という内容を取り入れた授業を行います。

【授業設定】

- ・ 主担当として模擬授業を進める。
- ・ 担当する（学）部，学年は自由に設定してよい。
- ・ 対象の児童生徒は知的障がい単一とする。
- ・ 児童生徒5人が目の前にいることを想定し，模擬授業を行う。
- ・ 児童生徒の意思の表出（意見や質問）や動作（反応）を具体的に想定し，それに対して全体へ向けて授業（指導）をすること。

【留意事項】

- ・ 授業を進めるにあたり，下記の物品を使用してもよい。
 - ※黒板・ホワイトボード（固定式）×1
 - ※ホワイトボード（手持ち）×1
 - ※ホワイトボードマーカー（黒，赤，青，緑） } 授業の構想を練る時間に記入可
- ・ 授業の構想を練る時間に上記の物品を用いて授業の準備をしてよい。
なお，机，椅子については，現状のレイアウトのとおりとし，動かさないこと。

【各段階における目標及び内容】

小学部 体育 3段階

(1) 目 標

ア 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようにする。

(2) 内 容

G 保健

健康な生活に必要な事柄について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 健康や身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けること。

中学部 保健体育 1段階

(1) 目 標

ア 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

(2) 内 容

H 保健

健康・安全に関する事項について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けること。

高等部 保健体育 1段階

(1) 目 標

ア 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

(2) 内 容

I 保健

健康・安全に関する事項について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けること。